

## ＜業務内容＞

### 1 作業準備

作業前に次の事項を必要に応じ行う。

- (1) プールの構造、材質の確認
- (2) 校舎とプール間における分岐電源の切り離し
- (3) 校舎とプール間における給水配管の切り離し
- (4) バルブ専用ハンドルの確保
- (5) プール各種バルブ（排水、水位調整、循環水抜、循環切替）の開放又は閉鎖
- (6) 加圧ポンプの作動
- (7) 電磁弁の閉鎖
- (8) 汚水ポンプの作動
- (9) 備品等の撤去格納（必要があれば）

### 2 作業内容

- (1) 排水
  - ア 排水を行うために必要な措置を行う。
  - イ 水位調整貯水槽内の排水に必要な措置を行う。
- (2) スキマー
 

プール内のスキマーを撤去回収し、回収したスキマーは、洗浄しプールサイド清掃終了後取り付ける。
- (3) プールサイド
  - ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
  - イ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液（濃度100ppm程度）を均一散布し、圧流水で流し、残留水を除去して仕上げる（以下「殺菌洗浄」という）。
- (4) プールサイド排水溝
 

形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
- (5) 洗体設備
  - ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
  - イ 腰洗槽及びフートバスは、残留水を除去して仕上げる。
- (6) オーバーフロー
 

形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
- (7) プール本体（壁面）
  - ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。特に人垢による汚れは固着化を防ぐため微細研磨材を用いて除去する。
  - イ リセス型等低水位オーバーフロー設置校は、残留水を除去して仕上げる。
- (8) プール本体（底面）
  - ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄し、残留水を集水マスへ落とし込む。逆流する場合は、残水処理装置等を用いて除去する。
  - イ 底面陥没等により残留水が滞留する場合は、残水処理装置等を用いて除去する。
  - ウ 水位調整貯水槽を形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、残留水を揚水ポンプを用いて排出する（水位調整貯水槽設置校のみ）。
  - エ 水位調整貯水槽の砂溜り部分の残留物を、湿式掃除機等で除去する（水位調整貯水槽設置校のみ）。
- (9) 集水マス
 

形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。
- (10) 底面吐水金具とガーター溝
  - ア ガーター溝の滞留水を湿式掃除機や残水処理装置等を用いて除去する。
  - イ 底面吐水金具とガーター溝の口は、最終清掃後、配管内部への汚水等侵入防止

のため、アルミ箔粘着シール等を用いて目張り密閉する。なお、翌年度プール点検業者が点検するため、目張りはビス等を隠さない様にする。また、アルミ箔粘着シール等を用いる際は、プール本体の塗装に影響のないものを使用すること。